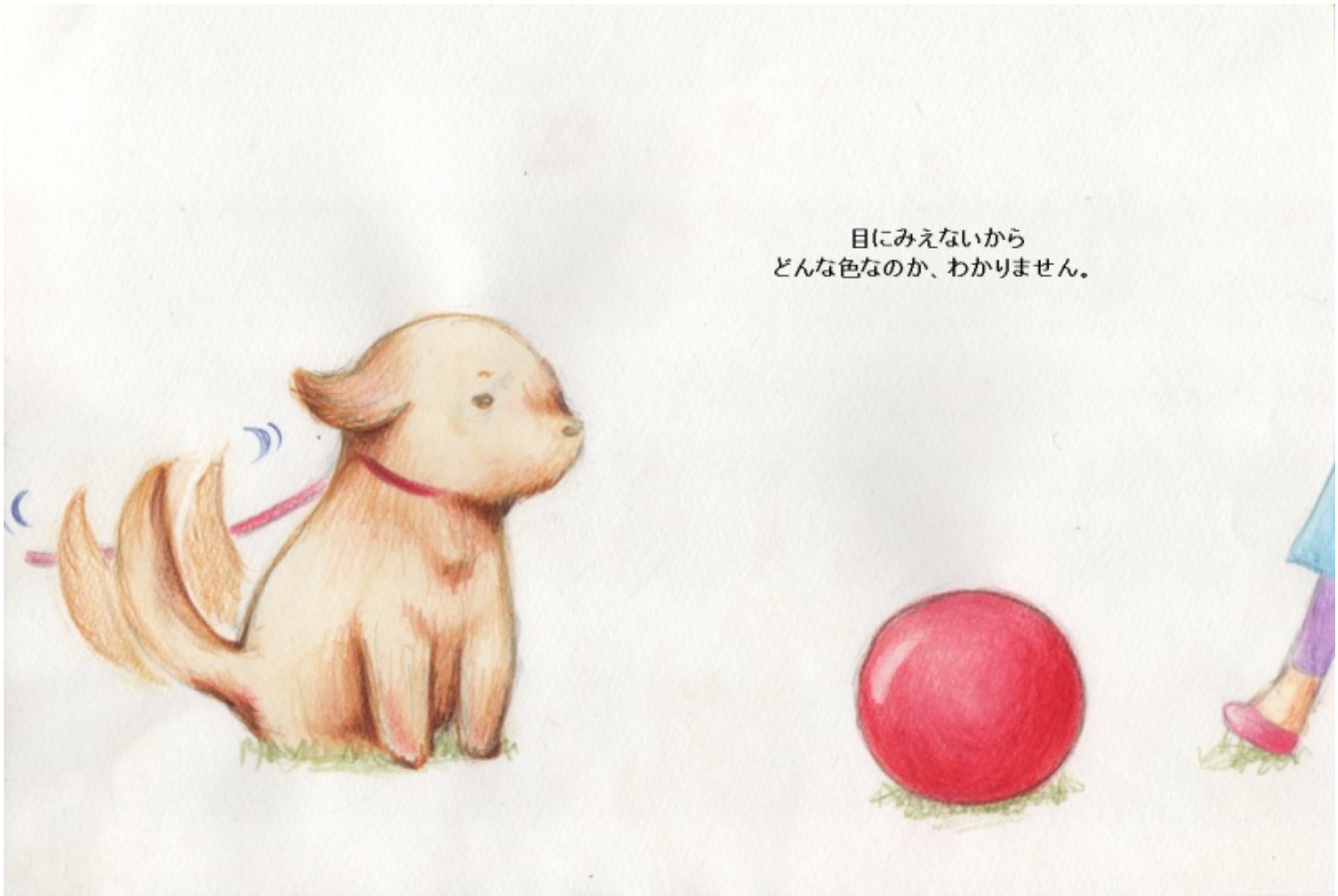
10 ページで感じる
きもちにいい絵本

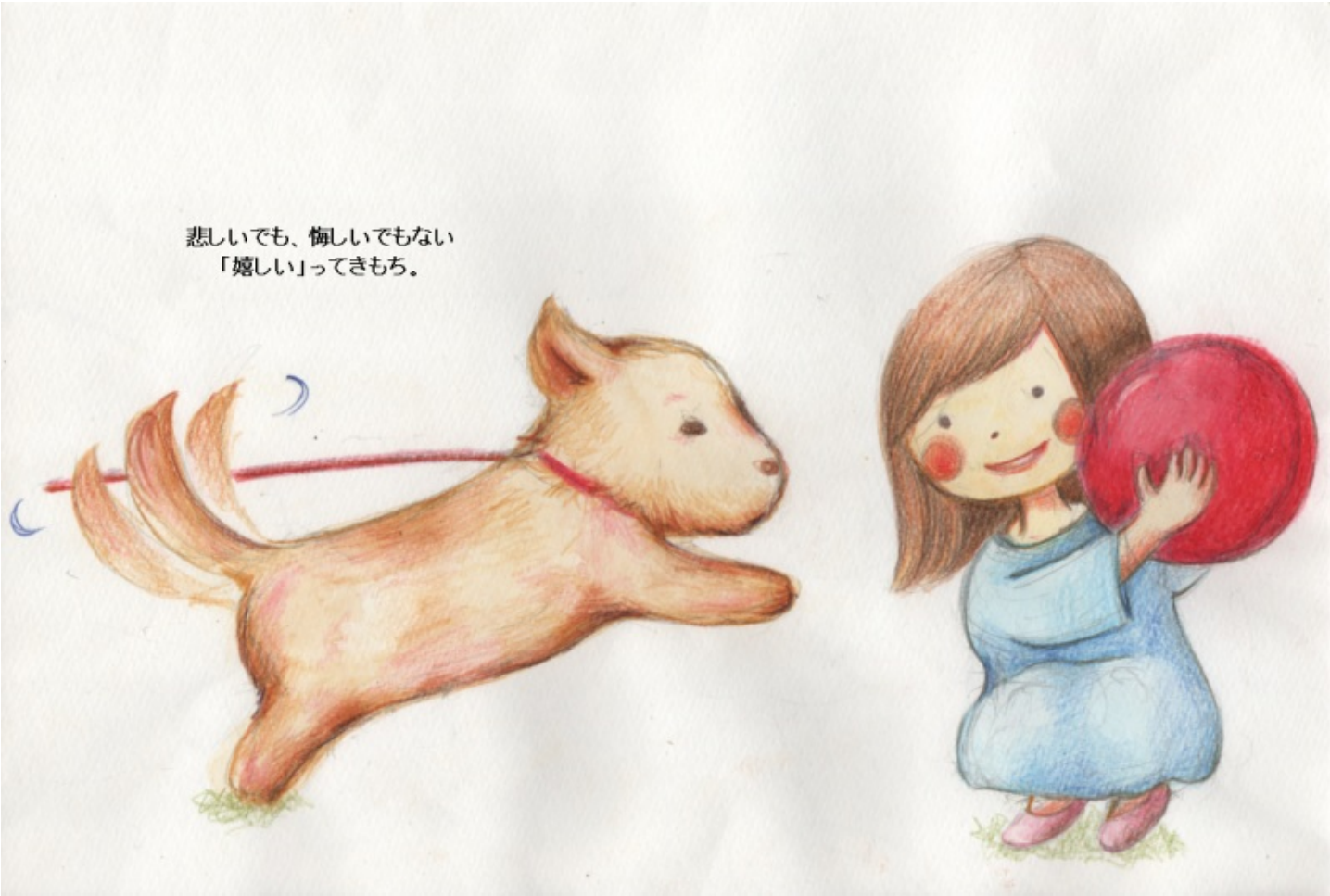
「嬉」

絵: 黒木ゆかり
文: 吉井春樹

嬉しいってきもちは
どこからやってくるんだろう？


目にみえないから
どんな色なのか、わかりません。

手でさわれないから
どんな形なのかも、わかりません。


悲しいでも、悔しいでもない
「嬉しい」ってきもち。

ポケットのなかには
ありませんでした。

ケータイのなかにも
みつかりませんでした。

泣きそうな顔して
さがしているぼくをみて

きみが笑っていました。
嬉しそうに笑っていました。

だけど、きみの笑顔をみていると
ぼくは笑顔になっていました。

ぼくの嬉しいってきもちは
きみが持っていたみたいです。

http://ameblo.jp/
yukarico1018/

あとがき～イラストレータ黒木ゆかり～

［プロフィール］

黒木ゆかり

1985年埼玉県生まれ。イラストレーター。本名 黒木友加理。

http://ameblo.jp/yukarico1018/

［あとがき］

吉井春樹さんの素敵な文章に絵をつけることが出来て今とっても幸せです。

「嬉」って感じることができる出来事は、きっとたくさんあるけれど

大切な人に喜んでもらえたときの嬉しさはとても大きいものだと思います。

ぜひ、大切な方の笑顔を思い浮かべて読んでみて下さい。

そして私のこの絵がみなさまの笑顔のもとになれたら、とても幸せです。

最後に、このようなすばらしい機会を与えて下さった吉井春樹さん、

また絵本に目を通してくださった全てのみなさま、本当に本当にありがとうございました。

あとがき～吉井春樹～

「嬉」～きもちにいい絵本～

この作品を最後まで読んでくださって、
そして、ダウンロードまでしてくださって、
本当にありがとうございます。嬉しさ満タンです。

今回は第１回の「悲」に引き続きの第2弾。
「嬉」というポジティブな気持ちにスポットライトを当てて、
ひとつの気持ちの物語をつくってみました。

悲しみや悔しさは何年経っても残っていたりします。
だけど「嬉しい」という気持ちは、逆に刹那的で、
すぐに消えて見失ってしまうような、そんな繊細なもの。

だけど、たしかにそのときそのときで味わっている
「嬉しい」という気持ちを大切にしたいなと思うし、
何より読んでいて「嬉しい」と感じてもらえるものを
やっぱり一冊は本にしたいと思った中での作品です。

黒木ゆかりさんのイラストは、想定外でした。
もちろん、いい意味で。ある意味、すなおに表現してくれました。
形や色をつけるのでなく、嬉しさを感じているときの、
僕たちの表情を、そのまま描いてくれたようです。

嬉しい人をみると、嬉しい気持ちになります。
だからなのか、この作品に登場する子犬や女の子の
表情を眺めているだけで、ほっこりするし笑顔になります。
ちょっと笑いたいとき、元気がほしいとき、
形も色もない「嬉」に触れることで、
エネルギーを受け取ってもらえたら、嬉しいです。

＜プロフィール＞
1977年愛媛県生まれ。「コトバ is プレゼント」をコンセプトにしたコピーライター出身の作家、詩人、エッセイスト。やさしく短い文章で、日常の小さな幸せを表現したメッセージ本を多数出版。年代問わず女性に幅広い支持によりロングセラーとなり、某国民的アイドルのラジオ番組や、韓流スターのライブイベントで朗読されたり、人気モデルのブログで紹介されたりと、著名人にファンも。毎月発行のCDブックマガジン「月刊うれしぴ」も好評。■著書「しあわせスイッチ」（ディスカヴァー21）「いつもよりがんばるあなたに。」「しあわせが、しあわせを、みつけてきた。」（以上アルファポリス）「好きのしるし」（PHP研究所）などがある。写真ブランド「SNAP-SHOT」とのコラボ作品として大手雑貨店で全国展開中のフォトポエムカードも人気が高い。 http://haruki-yoshii.com　また、しあわせになるためのコトバの筋トレ『コトトレ』主宰として多くのしあわせな言葉家や作家やアーティストを輩出。http://kototore.net